

◆ COOL CHOICE インタビュー

「人の気持ちを中心に考え、仕組みとの両輪を回す」
～NECプラットフォームズ株式会社 環境管理部

赤堀和彦さん・齋藤明さん～

インタビュー・文／ 鳥屋尾健(山梨県地球温暖化防止活動推進センター)



つうしん7号

今回のゲストは、昨年10月に行われた山梨県エネルギー政策課主催の「地域リーダー育成セミナー」にて事例紹介をされた赤堀さんです(写真左)。以前、静岡県で地球温暖化防止活動推進員としても活躍された実績があり、企業人の視点からも山梨に新しい風を吹き込んで下さることが期待されます。今回は、同社の齋藤さんにも同席して頂いてお話を伺いました。



——会社ではどんな活動をされていますか？

ハードと人と両方があります。ハード面では、空調・省エネや資源循環。一番無駄のない形でエネルギーを使う仕組みを回しています。人の面では、社内での情報提供や、eラーニング、地域への関わりを通して、環境意識をもって動いていける「人づくり」をしています。

——企業の中で環境活動を浸透させていく上で大事なことは何でしょうか？

人の意識が大きいと感じています。成果が見えにくい部分もあるので、意識づけがとても大事ですね。もともと我が社には「新しいものを先行してやる」文化がありました。環境経営に取り組みだしてから30年程になります。地道に長く続けていかないと根付かないものですし、実践しながら育っていったところもあります。まずはやってみる。やってみて初めてわかることがあるな、と気づかされます。

——人の意識に働きかけることについて、どんな時に手ごたえを感じましたか？

「知識だけでなく体験することで人の意識は変わる」と感じています。展開の流れとしては

- 1) 工場の環境活動(資源有効利用・地球温暖化防止)を進めてきたが、全員参加の活動を展開したかった
- 2) 環境教育は行っていたが従業員の環境意識を高めるため「知識」から「体験」にシフトした活動の展開を考えた
- 3) 「有機農園」や「剪定教室」など工場の空地や施設を活用した「体験型環境学習」を実施
- 4) ある部門では製造補助材料として使用する穀物を、構内の有機農園で栽培体験をした。

それにより、環境意識度調査で、60ポイントから80ポイントに急上昇した

組織なので、義務でも人は動きますが、形だけの取り組みにならないためには、社員一人ひとりが環境に興味を持ち、「自然や地球を好きになってもらう」ことが一番重要ですね。



——これから山梨でどんな活動をしていきたいですか？

まずは、静岡での取り組みの中で「これはいいな！」という感触のものを、会社内だけでなく、県内の地域にもつながりをもって広げていきたいです。

——最後に、この通信を読んでいる方へメッセージをお願いします。

地球温暖化防止へ向けてアプローチをしていけるのは「人」です。

企業人も、家庭に帰れば家庭人ですし、地域に返れば地域の一員です。私自身も、仕組みと人の両輪で、会社と社会に、これまでやってきたことが還元できたらと願っています。

地球から

給わり

足るも

知る暮らし

講演会体感レポート!

1月24日(火) 県立図書館

ゲスト: わたなべあきみさん (地給知足 生活の実践者)

鈴木嘉彦さん (山梨大学 名誉教授)

煙突トッパはフライパン!
持つとき熱くなくて便利

パッシブソーラーハウス



↑ 忍者屋敷みたいに、仕掛けいはいの家にしたかった! 今も進化中☆

屋根材のすぐ下に通気溝を作り、暖められた空気が上昇気流で小屋根のトッパにたまる。それをダクトで床下へ送り蓄熱するので冬もあたたかい。地下の食品庫は断熱してあるので、逆に冷え冷え〜!!

「自給自足」のようにひとりであんまり元気が張らない。ビンボ臭くて不便な暮らしでもあっても、楽しいですよ! まずは小さなことから、温暖化対策の第一歩を踏み出そう!

太陽にまわるといいね



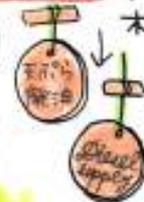
火の音楽をきくために作った

おかもち (小型太陽光発電Box)

会場に持ってきてくださいました!



天ぷら廃油で軽油(スタート時)と天ぷら油の切り換えは木の札のついたヒモで引く



イイにおい

いちばん参加者の笑いさえた...

自家栽培小麦 天然酵母パン



いいかげん石釜



ホームセンターで売っているブロックやみかげ石の板を積み木のようにつなげて作る。3室に分かれて130℃のミソを焼き色を調整できます!

コンポスト

コンポストトイレ



ドラム缶も足したら回車云のかわりに...

電重カゴットラ



荷台にソーラーパネルをのせて、太陽の向きに合わせて移動可能

落ち葉 くん炭 米ぬか 灰はじき 生ごみ



下り坂で発電して充電できる



第1部でご紹介いただいた、わたなべあきむさんの地給知足ぐらしについて、第2部では、エネルギー・工学の視点から鈴木嘉彦さんに語っていただきました!

いやあ〜!!
わたなべさんの暮らしぶりには圧倒されました!
わたなべさんのやっている事には、2種類のすばらしさがありますね☆



未来の世代に負担をかけないためには!?

環境負荷を軽減する工夫

× 生きることを楽しむ
自分ができる充実した生活

このように、1人1人が環境になるべく負荷をかけずに、充実した暮らしを営んでいくための、社会のしくみづくりも、とても大切です!



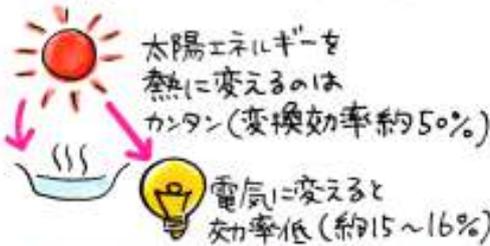
★ エネルギーの性質 (抜粋)

エネルギーは変換可能だが、使い方によって効率が低くなる

自動車のエネルギー変換効率

ガソリンエンジン	20-30%
ディーゼルエンジン	30-35%
電気モーター	80%以上

自分の手に入るものの中どれがベストかという視点が大事



講演のあとは、グループに分かれてディスカッションタイム♪
感想や自分もやってみたいこと、お2人への質問などなど... 活発な意見が飛び交いました!

話題にはホキワード



地給知足のアイディアを盛り込んだわたなべあきむさんのブログはこちら! → <http://d.hatena.ne.jp/musikusanouen/>

Report by 地球温暖化防止活動推進員 鈴木優子

みなさんからの情報ボード

◆ 地球温暖化の危機について～私たちに何ができるのか～ 主催：甲府市地球温暖化対策地域協議会

国立環境研究所・気候変動リスク評価研究室長の江守正多様にお越しいただき、「地球温暖化と私たちの未来」と題し、ご講演いただきます。今年3月で設立10周年となる本協議会の活動紹介もあります。どなたでも参加可能です。

- ・日時／ 2月17日(金)13時30分から (受付:13時00分から) ・場所／ 山梨県立図書館・多目的ホール
- ・お申込・お問合せ／ 甲府市地球温暖化対策地域協議会事務局(甲府市環境保全課内) 電話:055-241-4312 FAX:055-241-6190

◆生活協同組合パルシステム山梨「2017年度市民活動助成金」応募団体募集のご案内

地域活動が活発に行われ生活者が明るく暮らせる社会を願って地域貢献事業として助成制度を実施しています。延べ150以上の団体、2,500万円強の助成実績があります。地域課題に向き合って活動される皆様、ぜひご活用ください

- ・助成上限・対象数・応募期間／1団体20万円を上限に10団体以内を対象に助成します
- ・応募期間／2017年2月1日(水)～3月31日(金) (17時必着)
- ・助成対象・応募方法／山梨県内の団体、活動予定の団体。規模及び法人格の有無は問わず。ボランティア、ワーカーズ、NPO等
- ・申請／パルシステム山梨のホームページ(<http://www.palsystem-yamanashi.coop/blog/2017/01/06/>)、もしくは事務局へご連絡ください
- ・決定・交付／応募締切以降1ヶ月以内に市民活動助成金運営委員会にて審査・決定し、交付します。
- ・お問合せ・お申込み／生活協同組合パルシステム山梨・市民活動助成金運営委員会事務局 小林

〒400-0051・甲府市古上条町225-1 TEL:055-243-6327 E-MAIL:yamanashi-unnei@pal.or.jp

◆第6回やまなし木質バイオマス情報交換会「木質バイオマスエネルギー利用先進国オーストラリア・ドイツの現状について

県内においても大型の木質バイオマス発電所の計画などがありエネルギー利用に関わる具体的な動きが進んでいます。地域や未来にとって大切で、有限な木質バイオマス資源をどうエネルギー利用していけば良いのか、先進国事例も交えながら持続可能な利用について考えます

- ・日時／平成29年2月28日(火)13:30～16:30(受付13:00～) ・定員／100名(先着順)
- ・会場／山梨県生涯学習推進センター 交流室A・B(甲府市丸の内1-6-1山梨県防災新館1階) ・参加費／無料
- ・対象／木質バイオマスの利用に関心のある企業団体、行政、大学、NPO、林業・木材関係、森林組合、温泉旅館、再生可能エネルギー、建築設計、ボイラー、電気、設備、地域金融、コンサル、大学、まちづくり関係、等
- ・お問合せ・お申込／やまなし木質バイオマス協議会 〒400-0854 山梨県甲府市中小河原町64-1 功刀ビル1F

Tel:055-225-6834 Fax:055-225-6835 <http://yamanashiwbc.blogspot.jp/p/2.html>

◆ぶどうを利用した緑のカーテンセミナーを開催します！

山梨県では夏の冷房時に排出されるCO2を抑制し、節電対策の取り組みとして、県の特産品であるぶどうを緑のカーテンとして利用する活動を推進しています。山梨らしい文化として「ブドウのある暮らし」を身近に感じながら、来年の夏はぶどうのカーテンで暑さをしのいでみませんか。

- ・開催日程／<連続講座です！> 第1回 平成29年2月16日(木)13:30～15:30 平成29年2月21日(火)13:30～15:30
第2回 平成29年3月7日(火)13:30～15:30 平成29年3月10日(金)13:30～15:30
- ・会場／第1回 山梨県防災新館1F オープンスクエア東側 第2回 東山梨合同庁舎1F 101会議室
- ・定員／60名(先着順、事前申込制)
- ・お申込／山梨県森林環境総務課へ FAX またはメール FAX:055(223)1636 sinkan-som@pref.yamanashi.lg.jp

発行：『山梨県地球温暖化防止活動推進センター』公益財団法人キープ協会

〒407-0301 山梨県北杜市高根町清里 3545 TEL/0551-48-8011 FAX/0551-48-3577

Mail: eco@keep.or.jp URL:<http://www.keep.or.jp/yccca/>